

磐田市

自治会連合会だより

回 覧

VOL.19

平成25年7月2日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局〈市自治防災課〉

☎(0538)37-4811

<http://www.iwatashi-jichikai.jp>

『総会時会長あいさつ』

自治会長さんをはじめ地域の皆さんには、連合会の「安全安心で住みよいまちづくり」の取組みにご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。日頃思っていることを2点お話ししたいと思います。

1点目は、高齢化社会における自治会組織と活動のあり方についてです。

具体的には、自治会長の選出はもとより組長とか班長の選出までもが難しくなってきたという現状です。また、草刈りなどの奉仕作業や自治会財政のあり方等についても問題が顕在化しています。

「一人暮らしの高齢者は、食事の支度や掃除、買い物等自分一人の生活だけでも大変であることから、班長・組長職を免除する制度を確立してほしい」との封書が私あてに送られてきました。

それぞれの自治会のやり方がありますので、連合会で一つの道筋を作ることは難しいことです。が、このようないまの状況を、はじめに



磐田市自治会連合会総会

も問題が生じている事から対応策を考えることが急務の課題です。2点目は、防災への対応についてです。

昨年6月に自治会・自主防災会両連合会の役員で3・11の被災地である岩手県に出向き、自らの防災対策の問題点を探りました。役員が胸を強く打たれたのは、防災対策の基本は「自分の命は自分で守る」、「家族の命は家族で守る」こ

高齢化社会への対応と 防災意識の高揚について



自治会連合会長
杉田 友司

との大切さでした。

この教訓を受け防災意識を高めて行くとの思いから行政の対応も含め「防災対策アクションプログラム」を作成し取組みがスタートしました。その一つとして3・11を「家庭防災の日」と決め、家庭の中を家族みんなで点検する活動を行いました。学校にもお願いし、当日は子供達自らが校内放送を使って啓発をしました。初めての取組みでしたので、いくつかの問題が

あったと思いますが、これも毎年この取り組みを進め地域防災力を高めて

いきたいと思います。今後とも、皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

『総会における意見と回答』

●意見 連合会の運営について、304自治会がすべて参加したボトムアップするような運営をお願いしたい。

●回答 連合会の運営は、三役会で十分協議し、理事会に諮り承認を得て、取り組んでいます。また、31の地区自治会の会議が月1回程度開催され、連合会の報告や自治会長さんの意見を伺い、理事会に反映される流れになっています。さらに、支部における会議や研修会等の開催も行っています。

さまざまな形で運営をしておりますが、そうした指摘を受け止めながら進めていきたいと考えています。



役員・自治会長表彰

平成25年度
支部長・地区長のご紹介

●磐田支部

支部長（西貝地区長）
神谷 五郎



中泉地区長
水野 勲



見付地区長
鈴木 誠

「組織の原点は求心力」「最強の安全は人と人のつながり」をモットーに、トップダウン（上位下達）とボトムアップ（下位上達）のバランスで、それぞれ存在感を認識できる地域社会。具体的には市政への関心、安全・安心のまちづくり活動、地区自治会活動への参加、会員の資質向上と交流、環境美化、多文化共生社会などに積極的に参加していただき、アドバイスも遠慮なくしていただけるような一体感、その中心にいる自治会長を盛り上げ、協力する皆さんもいる。「情熱・笑顔は世界のパスポートです」



天竜地区長
吉添 繁雄



今之浦地区長
樋口 榮造



南御厨地区長
藤原 孝一



大藤地区長
池端 常雄



長野地区長
石川 和典



田原地区長
元場 千博



御厨地区長
鈴木 俊雄



岩田地区長
田中 健作



向笠地区長
戸田 早苗



於保地区長
池田 憲保

●豊田支部

支部長 村上 勇夫



歴史と文化を重んじ、更に発展を目指す豊田地区の気質は、平成3年豊田町駅設置に象徴される。「先見の明」を持ち行動する人が多かった。防災への備え、青少年健全育成など地域ぐるみの活動は豊田の誇り。今は社会貢献を目指す団体個人も多く活気がある。社会構造の変化や価値観が多様化する時代でも、安全で安心な生活環境の維持を目指す自治会活動は不可欠。「自分も参加して住み良い地域を作る」心意気と行動を期待しています。



井通地区長
足立 佳津雄



青城地区長
大澤 房男



池田地区長
兼子 孝宏



豊田東地区長
伊井 正武



富岡西地区長
島岡 信生

●福田支部

支部長 川島 安一



『自治会活動を一歩前へ！』地域のひととの繋がりが年々薄くなる傾向にあります。が、これからの高度成熟社会では、地域のことは地域で解決していく「自治」が一層大切になります。しかし多くの自治会では、役員が一年で交代してしまうことなどから、なかなかその活動を発展させられないのが現状ではないでしょうか。防犯や防災、地域福祉などの多様な課題に対し一歩でも前進できるよう、役員の皆さんと力を合わせて取組みたいと考えています。



福田西地区長
土井 通雄



福田東地区長
寺田 一秀



西部地区長
鈴木 一郎



豊浜地区長
加藤 博信



福田南地区長
星野 矩昭



北部地区長
杉浦 聖



中島地区長
平野 栄司



北地区長
澤口 勇司



東地区長
堀内 敬史



●竜洋支部

支部長(西地区長)
府川 光利

「安全で安心の住みよいまち」を目指し行政と住民の間を繋ぐべく自治会活動の支援を行っていききたいと思っています。
防災については、「防災対策アクションプログラム」を基に自助・共助のできるまちに、防犯・交通は高齢者・若年者への安全対策、また環境・ゴミ等、問題は多くあります。「隣の顔の見えるまち」づくりが必要であると思っています。
若輩者ですが、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

●豊岡支部

支部長 仲川 勝彦



今単位自治会が抱える課題は多岐にわたっています。少子高齢化、地域や経済環境の変化、加えて大規模地震への不安等々にともない単位自治会のみでの解決が難しくなってきました。共通して抱える課題が多くなってきた現在の現在、隣接自治会や地区及び支部連合自治会が、ともに連携、協力し合って課題に立ち向かったほうが安全安心な住みよい地域づくりへの早道です。そうした単位自治会をつなぎ、支えられるよう、役員の皆さんと力を合わせ努力してまいります。



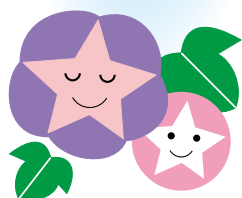
東地区長
小木 秀市



南地区長
古川 栄一



北地区長
深田 研典



平成24年度事業・収支報告

24年度事業の一部を紹介します。

6月に東日本大震災の被災地（岩手県山田町・大槌町）へ行き、被災地の状況や避難所運営、要援護者やボランティア受け入れの対応等について地域の防災活動に役立てる視察研修を実施しました。

この視察から、「自分の命は自分で守る・家族の命は家族で守る」という「自助意識」を一人ひとりが強く持つことの大切さを学び、9月には磐田市

民一人ひとりが「自助・共助」の意識を高め地域防災力を強めていくための5つの柱「防災対策アクションプログラム」を策定、自治会や自主防災会、各種関係団体への周知活動や協力依頼等を実施、各柱の取組みを推し進めました。

特に、3月11日を「家庭防災の日」と定め、家族で防災について話し合い行動するよう提唱しました。

平成25年度事業計画・収支予算

〔25年度事業・計画〕

「安全・安心の住みよいまちづくりの取り組みを推進する」を基本方針に、次の8項目に取り組みます。

1 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる

市政懇談会、市三役及び市議会との懇談会等の開催

2 安全・安心のまちづくり

自治会連合会と自主防災会連合会の組織編成検討

3 地区自治会活動の推進

4 多文化共生社会の推進
自治会長情報懇談会の開催

5 環境美化の推進

6 広報活動

7 役員及び会員の資質向上
8 協力事業
地域福祉や青少年健全育成、スポーツのまちづくり等への協力

〔専門部主要事業〕

〈総務部〉

● 連合会たよりの発行

● 自治会長コミュニティハンドブックの活用

● 自治会加入促進パンフレットの活用

● ホームページの充実

〈環境部〉

● 環境美化統一行動

● 環境美化ポスターコンクール

＜平成25年度 予算＞

収 入

費 目	予算額 (円)
会 費	1,690,000
交 付 金	10,000,000
負 担 金	630,000
前年度繰越金	565,392
雑 収 入	608
合 計	12,886,000

支 出

費 目	予算額 (円)
会 議 費	600,000
事 務 費	2,745,000
助 成 費	6,100,000
視 察 研 修 費	986,000
事 業 部 活 動 費	2,155,000
負 担 金	200,000
予 備 費	100,000
合 計	12,886,000

〈住民安全部〉

- 環境施設等の視察研修
- 環境美化指導員との懇談会開催
- 地区安全会議への助成と地区相互の情報交換会開催
- 防犯研修会の開催
- 防犯パトロールの推進
- 防犯ポスターコンクール